

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 11 月 7 日(2022.11.7)

【公開番号】特開 2021-37018(P2021-37018A)  
【公開日】令和 3 年 3 月 11 日(2021.3.11)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-013  
【出願番号】特願 2019-159391(P2019-159391)  
【国際特許分類】  
A 63 F 7/02(2006.01)  
【FI】  
A 63 F 7/02 304D

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 4 年 10 月 27 日(2022.10.27)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

遊技が可能な遊技機であって、  
振動可能な操作手段と、

所定方向に向けて光を照射可能な第 1 発光手段及び第 2 発光手段と、  
前記操作手段に設けられた第 3 発光手段と

前記第 1 発光手段からの光を導光可能な第 1 導光手段と、  
前記第 2 発光手段からの光を導光可能な第 2 導光手段と、  
を備え、

前記操作手段が振動する場合としない場合とで前記第 3 発光手段の発光態様が異なり、

30

前記第 1 導光手段は、

前記第 1 発光手段からの光が入光される第 1 入光部と、  
前記第 1 入光部から入光した光を導光する第 1 導光部と、  
前記第 1 導光部における前記第 1 入光部の反対側に配置され、前記第 1 導光部により

導光された光により発光する第 1 発光部と、  
を有し、

前記第 2 導光手段は、

前記第 2 発光手段からの光が入光される第 2 入光部と、  
前記第 2 入光部から入光した光を導光する第 2 導光部と、  
前記第 2 導光部により導光された光により発光する第 2 発光部と、  
を有し、

40

前記第 2 導光部は、前記第 1 導光部に沿って重なるように配置され、前記第 2 入光部から入光した光を前記第 1 導光部と反対側に向けて反射する反射部を有し、

前記第 1 発光部は、前記第 1 導光部における前記第 1 入光部の反対側の端面に設けられ、

前記第 2 発光部は、前記第 1 導光部とは反対側の表面に設けられ、前記反射部により反射された光により前記第 1 発光部と異なる方向に向けて面発光する  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0006

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

手段Aの遊技機は、  
 遊技が可能な遊技機であって、  
 振動可能な操作手段と、  
 所定方向に向けて光を照射可能な第1発光手段及び第2発光手段と、  
 前記操作手段に設けられた第3発光手段と  
 前記第1発光手段からの光を導光可能な第1導光手段と、  
 前記第2発光手段からの光を導光可能な第2導光手段と、  
 を備え、  
 前記操作手段が振動する場合としない場合とで前記第3発光手段の発光態様が異なり、  
 前記第1導光手段は、  
 前記第1発光手段からの光が入光される第1入光部と、  
 前記第1入光部から入光した光を導光する第1導光部と、  
 前記第1導光部における前記第1入光部の反対側に配置され、前記第1導光部により  
 導光された光により発光する第1発光部と、  
 を有し、  
 前記第2導光手段は、  
 前記第2発光手段からの光が入光される第2入光部と、  
 前記第2入光部から入光した光を導光する第2導光部と、  
 前記第2導光部により導光された光により発光する第2発光部と、  
 を有し、  
 前記第2導光部は、前記第1導光部に沿って重なるように配置され、前記第2入光部か  
 ら入光した光を前記第1導光部と反対側に向けて反射する反射部を有し、  
 前記第1発光部は、前記第1導光部における前記第1入光部の反対側の端面に設けられ、  
 前記第2発光部は、前記第1導光部とは反対側の表面に設けられ、前記反射部により反  
 射された光により前記第1発光部と異なる方向に向けて面発光する  
 ことを特徴としている。

手段1の遊技機は、  
 遊技が可能な遊技機であって、  
 所定方向に向けて光を照射可能な第1発光手段及び第2発光手段と、  
 前記第1発光手段からの光を導光可能な第1導光手段と、  
 前記第2発光手段からの光を導光可能な第2導光手段と、  
 を備え、  
 前記第1導光手段は、  
 前記第1発光手段からの光が入光される第1入光部と、  
 前記第1入光部から入光した光を導光する第1導光部と、  
 前記第1導光部における前記第1入光部の反対側に配置され、前記第1導光部により  
 導光された光により発光する第1発光部と、  
 を有し、  
 前記第2導光手段は、  
 前記第2発光手段からの光が入光される第2入光部と、  
 前記第2入光部から入光した光を導光する第2導光部と、  
 前記第2導光部により導光された光により発光する第2発光部と、  
 を有し、  
 前記第2導光部は、前記第1導光部に重なるように配置され、前記第2入光部から入光  
 した光を反射する反射部を有し、  
 前記第2発光部は、前記反射部により反射された光により前記第1発光部とは異なる方  
 向に向けて発光する

10

20

30

40

50

ことを特徴としている。

この特徴によれば、所定方向に光を照射可能な２つの発光手段のうち、第１発光手段により第１発光部を発光させるとともに、第２発光手段により第２発光部を第１発光部とは異なる方向に向けて発光させることができる。

10

20

30

40

50